

企画提案書記載項目

企画提案書の作成にあたって、以下に示す各章・項の構成に則って作成すること。

【注意事項】

- ・各章・項毎に機能要件書で示す、関連する仕様を満たすこと及び提案要求内容を含め提案を行うこと。
- ・提案項目における全ての項目は必須として記入すべきものであり、これらの項目において記入がないなどの場合は、その項目は0点として採点するため記入には十分留意すること。
- ・説明は文章をもって行い、図等はその補助として用いること。図のみの説明は認めない。
- ・記載された内容は、評価基準に基づき評価を行うこととする。
- ・記載項目1章1.5「運用業務要求項目」は、「2 二要素認証システム運用案提示案件」に示す運用について運用案を示すこと。

1 記載項目

章	項	提案項目	提案内容	評価項目番号
1章	二要素認証システム			
	1.1	提案システムの特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の提案にあたっての基本的な考え方や業務の実施方針等を記載すること。 ・提案者が提案するシステムにおける機能体系や機能概要を記載し、提案システムのアピールポイント、特筆すべき点等を記載すること。 ・認証精度（本人拒否率、他人受入率）を記載すること。 ・標準機能における特徴、利用する職員のメリットを具体的に示すこと。 ・ライセンス体系、価格体系を示すこと。 	1
	1.2	導入実績	全国の自治体の導入事例を示すこと。	1
	1.3	ネットワーク構成	ネットワーク構成を示すこと。	2
	1.4	ハードウェア・ソフトウェア構成	物品選定における考え方、工夫したポイントを具体的に示すこと。	2
	1.5	運用業務要求項目	ユーザー登録方法、システム導入作業について作業案を示すこと。	3
			共有パソコンの運用について運用案を示すこと。	

		システム障害時、認証不成功時の運用案を示すこと。	
		情報システム課の作業負荷軽減について運用案を示すこと。	
		ローカルアカウントでのログイン方法を示すこと。	
1.6	ログ管理	ログ管理、検索について管理者側の運用案を示すこと。	3
1.7	作業工程	稼働までの作業工程を示すこと。	4
1.8	導入支援	導入展開時の導入支援内容を具体的に示すこと。初回展開時および初年度の人事異動時は立会い必須。	5
1.9	運用保守	システムの運用・保守における基本方針やコンセプト、また運用、保守、業務支援の範囲を明確に示し、本市にとって有効な提案を行うこと。	5
1.10	独自提案	その他本調達や提案するシステム・サービスに関連し、本市にとって有意な提案や、事業者のサービスに関する特徴があれば、詳細な内容・効果を含め具体的に示すこと。	6
2章	ネットワーク監視システム		
2.1	提案システムの特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の提案にあたっての基本的な考え方や業務の実施方針等を記載すること。 ・提案者が提案するシステムにおける機能体系や機能概要を記載し、提案システムのアピールポイント、特筆すべき点等を記載すること。 ・標準機能における特徴、利用する職員のメリットを具体的に示すこと。 	1
2.2	導入実績	全国の自治体の導入事例等を踏まえた上で、本市に有益な提案を行うこと。	1
2.3	ハードウェア・ネットワーク構成	ネットワーク構成を示すこと。	2
2.4	作業工程	稼働までの作業工程を示すこと。	4
2.5	運用保守	システムの運用・保守における基本方針やコンセプト、また運用、保守、業務支	5

			援の範囲を明確に示し、本市にとって有効な提案を行うこと。	
	2.6	独自提案	その他本調達や提案するシステム・サービスに関連し、本市にとって有意な提案や、事業者のサービスに関する特徴があれば、詳細な内容・効果を含め具体的に示すこと。	6
3章	LGWAN 接続システム			
	3.1	提案システムの特徴	標準機能における特徴、利用する職員のメリットを具体的に示すこと。	1
	3.2	ハードウェア・ネットワーク構成	<ul style="list-style-type: none"> ・物品選定における考え方、工夫したポイントを具体的に示すこと。 ・ネットワーク構成図を示すこと。 	2
	3.3	セキュリティ対策、安定稼働性	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティ対策に関する具体的な提案をすること。 ・構築システムの安定稼働、冗長構成に関する具体的な方策を提案すること。 	3
	3.4	LGWAN 通信制御変更による設定変更	<ul style="list-style-type: none"> ・設定変更に対する基本的な考え方（実施条件、費用等）を明確に示すこと。 ・設定変更作業が職員で行える範囲がある場合は、手順について具体的に提案すること。 	3
	3.5	ログ管理	ログ管理方法について具体的に示すこと。	3
	3.6	作業工程	稼働までの作業工程を示すこと。	4
	3.7	運用保守	調達システム運用・保守における基本方針やコンセプト、また運用、保守、業務支援の範囲を明確に示し、本市にとって有効な提案を行うこと。	5
	3.8	独自提案	その他本調達や提案するシステム・サービスに関連し、本市にとって有意な提案や、事業者のサービスに関する特徴があれば、詳細な内容・効果を含め具体的に示すこと。	6

2 二要素認証システム運用案提示案件

(1) システム導入作業、ユーザー登録方法

ア パソコンへのソフトウェア展開方法

なお、小田原市が使用している資産管理ソフト「SKYSEA Client View」を利用して展開しても構わない。

イ ICカードと静脈情報、Windowsユーザーアカウントをシステムに取り込む方法

(2) 共有パソコンの運用について

小田原市では現在共有IDについて以下の運用を行っている。

【前提条件】

- ア 小田原市では窓口業務を中心に共有IDを利用している。
- イ 共有IDは課や施設ごとに割り振っている。
- ウ 1つの共有IDに対して最大120人を割り当てている。
- エ 1つの認証システムユーザに対し、複数のWindowsユーザ情報を持たせることで、窓口業務用の共有IDでのログインと、事務用の個人IDでのログインを1つの認証システムユーザで行なっている。

【課題】

- ア 他のWindowsユーザがロック中に別のWindowsユーザでログインをしたい。(Windowsのユーザ切り替え機能を利用する等)
- イ 共有IDでログインするクライアント端末は固定されているが、前提条件エの場合、どのユーザでログインするかをログインの都度選択する必要がある。指定するクライアント端末は特定のユーザでログインしたい。

(3) システム障害時、生体認証不成功時の運用について

- ア システム障害時にクライアント端末の認証継続方法
- イ 特定の職員の生体認証不成功が頻発した場合の対処方法

(4) 情報システム課の作業負荷軽減について

- ア 人事異動、随時変更作業
- イ ユーザ登録作業

(5) ローカルアカウントでのログイン方法

ドメインユーザではなく、ローカルアカウントでパソコンログインを行うことがあるため、ユーザID・パスワードを手入力しログインが可能かどうか、またはローカルアカウントでログインする代替方法。